

総合計画前期基本計画における外部評価（中間年度）について

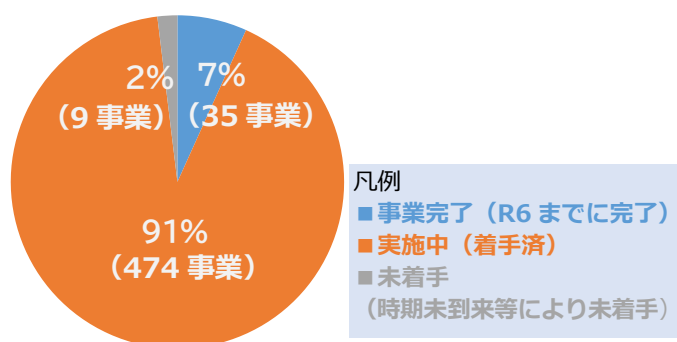
1 令和6年度までの推進状況

総合計画前期基本計画（計画期間：令和4年度～8年度）は、令和6年度で中間年度となる3年目が経過し、計画期間の折り返しを迎えた。

その推進状況の概要は、次のとおり。

(1) 登載事業の取組状況

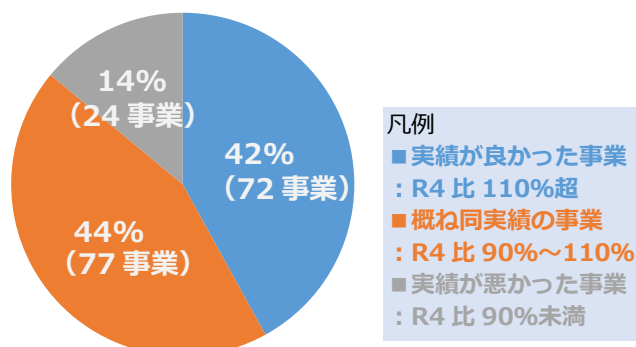
前期基本計画に登載した全518事業のうち、「事業完了」35事業を含む509事業（98%）に着手した。



(2) ひたち成長戦略プランの取組状況

ひたち成長戦略プランに位置付けた173事業のうち、149事業（86%）が概ね令和4年度以上の実績となった。

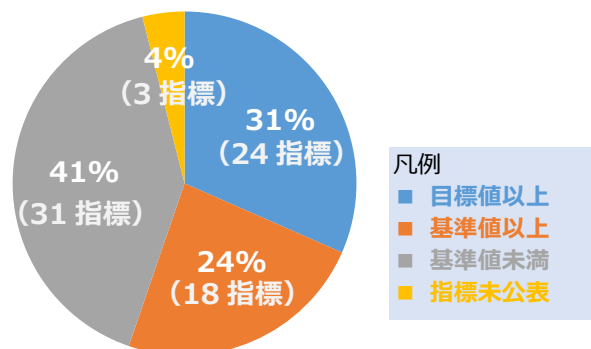
そのうち、72事業（42%）は「実績良好」であった。



(3) 目標指標の達成状況

前期基本計画に設定した76指標のうち、42指標（55%）が計画策定時の数値である「基準値」を上回った。

そのうち、24指標（31%）は既に「目標値」を上回った。



2 総合計画前期基本計画有識者評価会議（外部評価）の開催

(1) 趣 旨

前期基本計画の登載事業の取組状況や目標指標の達成状況を検証するに当たり、より客観性・信頼性を確保するため、市民参画による外部（第三者）評価を実施した。

(2) 日 時

令和7年8月29日（金） 午前10時から午前11時30分まで

(3) 結 果

中間年度である令和6年度までの推進状況は、登載事業のほぼ全てに着手するとともに、分野横断的に取り組む重点プロジェクト「ひたち成長戦略プラン」に掲げた事業の8割以上が計画スタート時の実績を上回っており、目標指標も5割超が基準値以上を示していることなどから、「概ね計画どおり順調に進捗している。」という評価であった。

(4) 主な質疑・意見等

	概 要
質疑	前期基本計画は順調に進んでいると受け止めたが、相当な支出があったのではないかと懸念される。どのくらいの費用がかかったのか。 ⇒ 登載事業の6年度決算額は約260億円であるが、補助金等が充てられ、全て市負担ではない。市全体の歳出総額は約820億円のため、約3割が計画事業となる。総合計画は、今後のまちづくりの指針であるが、その推進には財政状況と相関関係がある。現在、経営改革の取組も開始し、来年度は後期基本計画の策定作業も始まるため、こういった視点を踏まえつつ、将来都市像の実現に向け、計画全体の取組を進めていく。
質疑	防災の目標指標に「市主催の防災訓練開催数」があるが、先の津波注意報時の避難指示に対する市民の避難率が日立市は低いと報道があった。「避難指示に対する市民の避難率」を目標にすることも必要ではないか。 ⇒ 避難指示の区域は、市町村間で異なり、本市は学区単位のため相対的に低かったと認識している。数値の捉え方は、その背景にある事項にも注意が必要であり、防災関連にふさわしい目標指標は今後研究を進める。
意見	前期基本計画の目標指標はアウトカム指標が少ないと感じる。県の総合計画には「幸福度指標」や「県民所得」がある。後期基本計画の策定時には、目標指標も見直すと思うので、ぜひ導入を検討してほしい。

以 上